

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第27号
2026



(一社)朝霞地区薬剤師会
 発行人: 広報委員長 関 昌之
 〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号
 TEL: 048-483-4125 FAX: 048-483-4126
 asaka-ph@asakaph.or.jp

会長挨拶

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になり、誠にありがとうございます。今年も午年です。しかも60年に1度の「丙午」の年。いろいろな説がありますが一般的には「丙」は太陽のような明るさ、情熱、決断力を象徴し、物事を大きく広げるリーダーシップやエネルギーを意味します。また、「午」は古代において健康や豊作、発展の象徴であり、交差や転換を意味します。この二つが重なることで、非常に強い影響力を持つ年とされています。昨今、薬局の通常業務に加えて薬剤の供給問題、入退院時のシームレスな医療における医薬品提供が難しいこと、災害時の医薬品提供体制の整備など多くの問題を抱えています。そこで朝霞地区薬剤師会は地域医療に貢献できるよう「地域フォーミュラ」事業を医師会、歯科医師会のご協力を得ながら本格的に進めています。また朝霞地区の薬局機能情

報を提供していただき薬剤情報を共有し、さらにモデル地区として新座市内の選定した薬局を中心に在宅地域連携薬局グループ(HCG)の構築を進めています。災害時においても医薬品の供給が継続できるようグループLINEによる安否確認システムを構築しました。さらに市民の皆様にも医療関係者にも見やすく役立つようなホームページのリニューアルを構築中です。今年も朝霞地区の医療者、行政、コメディカルの皆様のご協力を得ながら地域医療を支えられるよう、朝霞地区薬剤師会は「丙」より明るく情熱を持ちリーダーシップを取れるような、また「午」より市民の健康や医療の発展に貢献できるように邁進してまいりますので、皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
 会長 大八木 実・あおぞら薬局

4市との健康・防災イベント報告

10月11日には、各市の健康・防災イベントが開催されました。10月13日には志木マルイのエントランスで開催された埼玉県薬剤師会の「薬と健康の週間」イベントと共催して、8階市民会館会議室で「第6回市民フォーラム」を開催しました。

これらのイベントには薬剤師の地域活動の一環として朝霞地区内に勤務する多くの薬剤師の皆さんの協力をいただき、市民のみなさんに薬剤師の仕事をアピールすることができました。 監事・広報委員 清水 勝子・新倉健康薬局

日時	活動名	場所	薬剤師参加者	活動内容
10.13	和光BOSAIフェア	和光市体育館前	7名	災害時の持ち出し救急袋(薬剤師会推奨)おくすり手帳啓発、OS-1配布(脱水症・熱中症パンフ)
10.19	新座快適みらい都市市民まつり	新座市保健センター	6名	BMI指数計算と健康相談、おくすり相談 経口補水液・飴・啓発冊子等配布
10.19	市民フォーラム 志木市市民会館会議室		13名	「知って得するくすりの話」 ～生活習慣病と最新治療～ 薬剤師、医師の講演、 体験イベント(キッズファーマシー、血流測定、 握力計血管年齢、骨量測定、ハイチェッカー、 自律神経測定、サンプル・パンフレット等配布)
11.8	朝霞市防災フェア	くまみちモールあさか	11名	薬剤師が考える救急箱、災害時持ち出し医薬品等 モバイルファーマシー活動のパネル展示
11.16	第49回志木市健康祭り	志木市健康増進センター	9名	血管年齢測定(273人)おくすり相談(46人) パンフレット、試供品提供



地域フォーミュラ報告

地域フォーミュラの3領域（スタチン系、抗ヒスタミン、
歯科領域の鎮痛剤）を2月1日から稼働する予定にしてお
ります。医師会、歯科医師会のホームページに掲載する予
定になっております。ただ薬剤師会はホームページがリ
ニューアルする関係上2月1日の掲載が整えられないため後
日、掲載日が決まりましたらご連絡差し上げます。ご面倒
をおかけして申し訳ございませんがもうしばらくお待ちく
ださい。

3領域のフォーミュラが無事にスタートすると同時に次
の領域の作成へと活動を進めつつ3領域の認知度を上げ、
国保のデータでの効果確認にも繋げていければと思ってい
ます。

理事 地域連携委員長 服部 秀俊・ナツメ薬局

朝霞地区会員専用公式LINE 「あさやく公式LINE」参加のお願い

現時点では薬局会員（管理薬剤師etc.）、個人会員の方
だけを対象に、薬局のスマートホンでも個人のスマート
ホンでも、とにかく非常時に連絡が取れる端末で下記の
QRコードから、友だち追加お願いします。

災害時のことを踏まえ、
できるだけLINEの使用を
お願いしておりますが、
LINEの使用がどうしても
できない場合には、
メールでお伝えください。
ご協力よろしく
お願いいたします。



コラム：黒目川の薬箱「生成AIについて最近考えたこと」

しばらく前から、「シンギュラリティが来る」という言葉
を耳にします。コンピューターの処理能力が人間の処理能力
を超える瞬間を指すのですが、個人的には眉唾な話かなと
思っています。

ChatGPTに代表される生成AIは急速に日常の隅々にまで普
及していますが、データセンターを稼働させるために莫大な
電力と清浄な冷却水を消費しています。南米などで資源に乏
しい地域がデータセンターを誘致した結果、もともといた住
民が生活を維持できなくなるという事態も発生しているそう
です。

地球の上に現れた生物のうち、真核生物は解糖系やTCA回
路といった仕組みを共有しつつ、「どのような条件でそれを
動かすか」について多様な「核酸→タンパク質」の組み合わ
せを発達させることで共存・競争してきました。植物が大気
中に大量の酸素を放出して生態系を一変させたのも、恐竜が
地上を闊歩したのも、煎じ詰めれば遺伝子とそれがコードす
るタンパク質の機能が環境に適応した結果でした。その後、

今から1万年くらい前にホモ・サピエンスが農耕を始めて、
生態系を遺伝情報ではなく「炭水化物→エントロピー」とい
うプロセスに沿って改変するようになりました。哲学者は
「人新世」と呼んだりしますが、「脳が大量のブドウ糖を消
費すること」に対して生態系が最適化し、生物の種類は均質
化し、脳の活動による文明の副産物として大量のエントロ
ピーが増加するようになりました。

生成AIが大量にエネルギーを消費し、データセンターの周
囲から人間を排除し始めたというのは、3つ目のステップの
予兆なのかな、とぼんやり考えています。もはや有機物を必
要としない「電力→エントロピー」のプロセスに最適化して
いくのかもしれませんが。大量の資源消費によって利益を享受
する人はごく一部でしょうが、そこに「正解」があると感じ
る人は多そうです。AIが人間の処理能力を超えるのではなく、
人間とAIがお互いに過剰最適化した結果、人間の処理能力が
AI以下になってしまう日が先に来そうな気がします。

広報委員 田代 健・地球堂薬局

新規会員薬局紹介

◆薬局トモズ 和光店

- ・薬局トモズ志木店
- ・埼玉県新座市東北2-30-18
- ・TEL：048-487-4337 FAX：048-487-4338
- ・管理薬剤師：工藤 嵩也
- ・精神科や眼科に整形外科など幅広く処方箋応需しています。



◆薬局トモズシーアイハイツ和光店

- ・埼玉県和光市本町31-1 サミット2階
- ・TEL:048-483-4761 FAX:048-483-4762
- ・管理薬剤師：佐藤佳代子
- ・店舗は駅から徒歩5分くらいに位置し、1階にスーパー、
2階にスポーツジムがある商業施設の中にあります。近く
にはマンションがあり近所の方にご利用いただいております



研修会報告

◆ 薬剤師のための災害時緊急対応セミナー 9月15日

薬局関係者を対象に開催した「薬剤師のための災害時緊急対応セミナー」では、まず「救急」と「災害」の違いを整理し、日常業務とは異なる視点の重要性を確認しました。災害時に必要となる行動原則「CSCATTT」や「3S」についても取り上げ、限られた資源の中で安全と秩序を保つための判断力を養いました。

また、「大地震で薬局が被災した場合／被災しなかった場合」に分け、薬局としてどのような行動が求められるかを具体的に検討。医薬品の供給に加え、衛生管理、避難所での健康相談・医療支援といった広い役割を担うことも確認しました。さらに、災害医療に欠かせないトリアージ（第一次トリアージ）の考え方や、呼吸補助に用いるバックバルブマスクの活用方法についても学びました。

実技では、救急外傷の初期対応として頭部保持やログロールを体験。知識だけでなく体で覚えることで、現場で即応できる自信につながりました。参加者からは「実際に想定することで日常業務とのつながりを感じられた」との声があり、地域を支える薬局の役割を改めて実感する機会となりました。今回のことを活かし地域医療を支えていきます。

理事 青年部部長 江口 武幸・アトム薬局



◆ 第4回研修会 12月11日



12月11日、志木市民会館 会議室（マルイ8F）にて第4回研修会が開催されました。

参加者：計19名（会員18名、非会員1名）

講演1：「明日から活かせるトレーシングレポート」

講師：かくの木薬局 管理薬剤師 上妻加奈 先生

講演2：「検査値のみかた

（報告用紙の成り立ちと臨床推論）」

講師：埼玉医科大学 院長補佐

臨床医学講座教授 前田卓哉 先生

座長：埼玉病院 薬剤部 金井貴充 先生

アンケート結果（回答数9件）

両講演とも高評価を得た。トレーシングレポートについては全員が「理解できた」と回答し、8割以上が「今後活用したい」と回答。検査値の講演も全員が各項目を「理解できた」と評価。「具体的事例で理解しやすかった」「大変勉強になった」「もう一度聞きたい」などの感想が寄せられた。

理事 研修委員

関 昌之・ウイン調剤けやき薬局

◆ 第5回研修会 12月18日

「オーバードーズする若年者の基本的理解と支援

～救急医療の現場から～

12月18日、志木マルイにて第5回研修会が開催されました。講師に埼玉医科大学病院 救急センター 臨床中毒センター、臨床心理学 公認心理士の高井 美智子先生をお招きしてご講義を賜り、会員のみならず、登録販売者、学生、教員と様々な分野から参加頂きました。

救急医療の現場において実際に対応されている事例をもとに、若年者におけるオーバードーズの背景や心理的要因、発見時の対応、医療機関・家族・学校・地域との連携の重要性について講義が行われました。特に、オーバードーズ行為を単なる薬物乱用として捉えるのではなく、SOSのサインとして理解する視点や、否定や叱責ではなく寄り添った支援が必要であることが強調されました。参加者からは、若年者がオーバードーズに至る心理的背景について理解が深まった。救急医療現場での具体的な対応や支援の実際を知ることができた。といった意見が多く聞かれました。

本研修を通じて、適切な支援につなげられる体制づくりが重要であると感じました。

相談できる場所として薬局を選んでもらい、私たち薬剤師がゲートキーパーになれたらと思います。

理事 研修委員 関 昌之・ウイン調剤けやき薬局

市民フォーラム



10月19日、志木市の「志木マルイ」8階にある市民会館会議室で、朝霞地区薬剤師会による市民フォーラムを開催しました。

同日には、1階志木マルイ前で埼玉県薬剤師会の「薬と健康の週間イベント」も行われ、相乗効果により、多くの市民の皆様が参加されました。

このイベントは、市民の皆さんが薬の正しい使い方や日々の健康管理について気軽に学べる場として企画され、薬剤師の専門性や地域医療への関わりをより身近に感じてもらうことを目的としています。

理事 市民フォーラム部会長 内野 裕嗣
・株式会社ドラッグストア光



おすすめの本

「ディズニー そうじの神様が教えてくれたこと」

鎌田 洋 著 (SBクリエイティブ)



ディズニーランドでキャストディアル (パーク清掃員) や教育担当をしていた鎌田洋さんの心温まるお話。...

なぜ、そこまでそうじにこだわるのか? たかがそうじと思ってしまうけれど、そこにはパークを訪れてくれるゲストへの思い、...

私もディズニーランドで奇跡が起こったことがあります。そこで働いている方々の思いが奇跡というかたちになってくれたんだなと思っています。

理事・広報委員 金子 修治・ミドリの薬局

新年会のご案内 2月14日開催

今年も「新春のつどい」を開催、大好評の豪華賞品の当たる抽選会も予定しております。

まだ参加申し込み受付中です! こちらからどうぞ。 皆様のご参加おまちしております。



昨年の新年会

コラム

みなさんの薬局でも健康に関するイベントや商品、キャンペーン案内のチラシなどを配布する事があるかと思ひます。...

そんななか先日電車に乗っている時、60代くらいの男性が私の正面に座るとすぐにリュックサックから何かを取り出し読み始めました。...



広報委員 磯村和美・かくの木菅沢薬局

俳句を楽しむ



渡邊 みち草 (理事) 渡邊 美知子 あさか台わたなへ薬局

寒暁のもぐり込みたる猫二匹

数多なる日々の想ひや針供養

盆梅の一輪二輪母恋ふる

豆まきや二人で家の裏表

かじかみて握るペン先震へをり



研修会情報は、ホームページに掲載しています。WEB開催も増えました。チェックしてみてください。



編集後記

「幸せとは何か?」年末年始で考えてみました。自分の大切なものを、大切に出来ている実感の事なのかなと思ひます。...

日々、仕事や家庭の事に追われていると、そんな事を考えることも無かった自分を見つめ直す良い時間が取れたのかも思ひます。

忙しい毎日を送っている皆様にも、そんな時間取れる事を祈りながら、いつも通りの働いて、働いて働く毎日に戻ります。

理事 広報委員長 関 昌之・ウイン調剤けやき薬局

(一社) 朝霞地区薬剤師会 〒351-0021 朝霞市西弁財1-10-21-312 TEL: 048-483-4125 FAX: 048-483-4126

